

10月 [当該エリアの概況・訪日客の傾向] ～西日本～

<近畿>

七里御浜ツーリストインフォメーションセンター

訪日のお客様より「14時過ぎるとランチできるお店がない」との事。当施設周辺にはチェーン店はなく、個人主のお店しかないため14時を過ぎるとランチをできる所が1カ所程に限られる。今後の課題となった。

石山駅観光案内所

秋の観光シーズンに入り、外国籍の観光客以上に日本人観光客も多いため、駅にあるコインロッカー(大型)が全て埋まり、スーツケースを持った外国籍の観光客が困り、案内所に助けを求めに来られることもあった。

彦根市観光案内所

- 全体では昨年の4.5倍、コロナ禍前2019年の44%。地域別はアジアが昨年の4倍で2019年の20%にとどまる。ヨーロッパは昨年の4倍、2019年の約半分に回復。コロナ禍前までには戻っていないが、少しずつ回復しているようだ。
- 通常の彦根城や城下町のご案内だけでなく、県外観光地、新幹線の時刻、旅館の紹介、琵琶湖パールについてなど問合せが多岐に渡った、とても印象的な月だった。お客様の層や目的が多様だったということだろう。その場に応じて適切な対応を求められるので、引き続き案内所一同力を合わせて取り組んでいきたい。

栗東観光案内所

コロナ禍は開催出来なかった地域の恒例行事やイベントが続々と再開され、当協会主催イベント、関連団体開催のイベントも盛況であった。当協会が季節運行しているバスを利用するハイキング目的の来訪者も多かった。

米原駅観光案内所

おだやかな季節で、国内外問わず観光客数はやや多かった印象。レンタサイクル、手荷物預かりやコインロッカーの場所を尋ねる問合せは以前から多くあったが、当月は特にコインロッカーに関する問合せが目立った。米原駅に設置しているコインロッカーは中型より大型の数を多く設置しているが、訪日客の手荷物は大きいものが多く、荷物がロッカーに入らなかつたり、コインロッカー数が不足したりすることもあり、大変心苦しく思っている。現在さらに大型のコインロッカーの増設を検討しているところである。

まいづる観光ステーション

- 中国、台湾からの旅行者が約8割を占めた。天橋立方面へのご案内が多く、電車の乗り継ぎに、レンタサイクルで西舞鶴を観光するお客様が多く、特に吉原入江・海鮮市場が人気コースになっている。SNSの影響が大きく、多くの観光客はSNSで調べて来店し、レンタサイクルを使用して目的地に行かれることが多い。
- ご当地のスタンプを集めている方も日々増えている。

大阪観光案内所

- サマーホリデーシーズンは終わったにもかかわらず、前月より外国籍の方の来所が20%増加、歴代最多人数となった。各地域増えたが、特に東南アジア地域やヨーロッパ地域が多かった。

- 駅構内にあるため、どうしても道案内や乗車券に関する問合せも多いのだが、当月は案内も多岐に渡り、特に時間をかけてじっくり観光案内することが増えたと感じている。

大仙公園観光案内所

- 前月とあまり変わらない数だったが、欧米圏からの来所が目立った。最も多かったのがスウェーデン、次にオーストラリア、アメリカ、中国が同率 2 位であった。案内の内容は、お土産物に関する質問が数組いた。
- 年に一度の「堺まつり」があったため、来所されたお客様に、「堺まつり」で鉄砲隊のパフォーマンスや堺の特徴的な山車である「ふとん太鼓」が見られることを案内したところ、非常に興味を示されていた。

りんくうプレミアム・アウトレット インフォメーションセンター

- 当月の来場者数は前月並み。アウトレットセールを楽しみに来場される訪日客が多くいらっしやり、来場前にご自身で SNS の情報をチェックされていたようだった。
- 当月も続いて貴重品、購入商品の紛失が多く、お客様の代わりに関係各所へ連絡し、必要に応じて同行案内などの対応を行った。対応した案件のほとんどは無事に見つかり引き渡しまで完了できたが、落とした鞆が発見されたが、中に入っていた現金が抜き取られたケースもあった。「日本だから少し目を離しても大丈夫だと思った」とおっしゃる方がよくいるが、大量の現金を持ち歩く可能性が高い訪日客がこのような事案に巻き込まれることも多く、インフォメーションから手回り品に気を付けるように注意喚起も実施している。

新神戸駅観光案内所

- 相談内容は、大きく市内観光と新幹線関連の案内(切符、列車の時間、ホーム案内など)に二分される。神戸ビーフレストランは予約している方はほんの一部。ほとんどの方がお勧めのレストラン情報を求められる。初来日の方は神戸ビーフを求めて来神され、数時間の滞在のことが多く、リピーターの方は 1 日時間を取って来神されることが多いように思われる。
- IC カード購入希望のお客様が着実に増えている。子供や若者に、駅スタンプも継続して人気がある。
- アジア圏の旅行者は関西一円の交通お得切符を求める方が多く、西欧圏の旅行者は歩くことを厭わず、布引の滝やハーブ園など自然を好む傾向がある。
- 淡路島の渦潮や、京都以外で日本舞踊を鑑賞できるところ、富士登山にかかわる質問なども少数だがあり。

城崎温泉ツーリストインフォメーション SOZORO

当月の来館者数は 776 人、前年同月比 570%となった。当月は特に北欧や南米の方が多く、初めて城崎温泉を訪れる方が多く見られた。天候の良い日が多く、温泉巡りやレンタサイクルを利用して町中を楽しまれていた。

神戸市総合インフォメーションセンター

- 「母が迷子になった」と娘さんが来館。中国語が話せる当案内所スタッフが同行し、幸いすぐに見つかった。
- 英国の TV クルーが事前の連絡なく来館。「Race Across The World」というトラベル番組で来日したらしく、市内観光ではなく、他県へのアクセスを尋ねるという設定で撮影をされたが、急なことで驚いた。
- ニューヨークから来た中年男性。淡路島にある「若人の広場公園」へのアクセスをお尋ねだったが、高速バスを降りて徒歩約 1 時間半の場所にあり、周辺の詳細な地図もないため(行くのは)難しいと伝えても全く意に介さない。建築に興味があるとのことで、アクセスも容易な市内にある安藤忠雄氏の建築物をご案内、とりあえずはそちらへ向かう様子であった。翌日、やはり「若人の広場公園」へ行かれたとのことで、いかに素

晴らしかったか、感想を伝えに立ち寄られた。(若人の広場公園:世界的建築家、故丹下健三氏の建築物)

姫路市観光案内所

- 当月の国籍別来所者数は1,394人。前年度比42.8%増。前月より若干数上昇。国籍別では米国、フランス、オーストラリア、台湾の順に多かった。
- 10月14日・15日に開催された「灘のけんか祭りを見に行きたい」と多くの外国籍のお客様が来所された。前もって情報を知っているお客様がほとんどで、こちらで準備していたアクセスマップでご説明。スムーズに現地に行っていた。

奈良市奈良町南観光案内所 『鹿の舟』

- 前月と比べ、訪日来館者数が大幅に増えた。いずれの地域も増えたが、団体客が2組あった影響で、特にアジアからの訪日客が著しく伸びている。
- 奈良の工芸品、伝統の行事、古い建物などに興味を持たれ質問される方が多く、日本人同様、良い季節に歴史ある奈良町散策を楽しまれた。

紀伊半島観光情報ステーション

10月もまだ暑い日が続いていたため、国内外問わず白良浜で泳いだり、水遊びをしている人を見受けられた。スイス、カナダ、中国などの寒い地方や国の方が多かったように思う。また、シーズンの熊野古道ウォークなどをされる方も多く、日本の秋を満喫されているようだった。

<中国>

出雲市駅観光案内所

過ごしやすい気候となり、自然鑑賞が目的(渓谷や滝など)の外国籍の方も来所されるようになった。その他は今まで同様、JR窓口が無い関係で、切符購入のお手伝いを頼まれる方が多かった。夕日の名所でもある出雲で「夕日鑑賞をしたい」という方や「神楽上演を観たい」という要望もあり、朝から夕方までフルに観光される方が多い印象の月だった。時期的に当駅近くでも秋祭りが多く開催され、日本ならではの神楽上演やお神輿などを目にする機会もあり、タイミングの合った訪日観光客の方に大変喜ばれた。

松江国際観光案内所

- 松江城周辺・由志園・足立美術館・出雲大社への交通アクセスに関する問合せに加え、水燈路・どう行列などの地域のイベントに関する問合せも多かった。
- 地方では現金が必要との情報を得て来県された訪日客が、自国の通貨を日本円に両替できる場所を尋ねに来所された。しかしながら、松江市には両替できる金融機関・機械(ATM)がないことをお伝えしたところ、かなり困っておられた。大都市で両替を済ませてから地方へ移動されることを更に周知させる必要があると感じた。

日御碕ビジターセンター

地元空港に台湾からのチャーター便があり、団体のお客様が多かったが、来館される方は少なかった。また、近隣空港の韓国の定期便の運行が当月ようやく再開され、訪日旅行者はますます増加する見込み。

倉敷館観光案内所

- アルゼンチンの団体の方が「こんな美しい町並みは初めて見た。とても楽しんでいる」と大変喜ばれていた。
- アメリカ籍の方から「美観地区のほぼ全ての施設を巡った。他にどこに行けば良いか」というお尋ねがあり、大橋家住宅と水島にある工場夜景を勧めると、「興味があるので行ってみる」と大変喜ばれた。

福山駅観光案内所

9月からはじめたアンケートの来訪目的の傾向は、意外にも観光目的が多い(ビジネス目的では案内所を利用しないのかもしれないが…)。また、「福山を何で知ったか」の回答はSNS利用が多いと予測していたが、友人・知人からの口コミが多いことに驚いている。

そごう広島店総合案内所

- 欧米圏の観光客が増えて、各所観光施設への行き方や外貨両替の問合せが増えた。店内の外貨両替機で対応できない金種についての問合せも増え、他の外貨両替店をご案内することも多くなった。
- 店内で売っているものの問合せとして、アニメグッズや広島カープグッズなど、日本文化や広島独自のものにこだわってお土産にしたい方が多くおられた。

広島市観光案内所(平和記念公園レストハウス)

- クルーズ船が9日間で12隻寄港し、前月に比べ3倍であった。北アメリカ(特にアメリカ)とオーストラリア籍のお客が多かった。
- 平和記念資料館入館の待ち時間がとても長く、中には2時間近く待つケースもあった。前売り券も無く、見学を諦める方が増えた。以前は正月、大型連休、お盆休みに長い入館待ちの列が出来ていたが、それと同じくらい日常的に混み合っている状況。
- 紅葉(三段峡と三滝)に関する問合せが増え始めた。

広島バスセンター総合案内所

- 当月の外国籍の来所者数は466人で前年同月比597.4%だった。最多国はアメリカ、特にハワイ州からの日系アメリカ人の来所が目立った。また、ここ数カ月減少していたオーストラリアが再び増加(8月15人、9月16人、10月40人)、その他ドイツ、イギリス、フランス、スペインなどヨーロッパ圏からの来所が続いた。欧米圏のお客様からは、先日散策区間がほぼ復旧した三段峡と宮島観光が大変人気である。
- 10月29日から広島-ソウル間の就航が週3から週7往復に増便。初日の29日は韓国籍の方の来所が最も多かった。今後さらなる来所数の増加が見込まれる。

新山口駅観光交流センター

選択式と自由記載をあわせた10項目の“Why did you come to YAMAGUCHI?”というアンケートを実施し、解答者にはSL手ぬぐいをプレゼントしている。アンケート結果から、観光場所は元乃隅神社と萩が多く、訪日客がアジア圏以外にも多様な国籍であることが分かった。

長門市観光案内所 YUKUTE

10月はバスツアーなど団体の訪日観光客が多いと感じた。その団体の添乗員さんから尋ねられることもあり、いろいろ伺ってみると観光の目的は景色を眺めることとグルメのようだった。特に、生の魚を食べる機会がほ

とんどない方もいたらしく、刺身や海鮮丼などに驚かれたという。会話をするとさまざまな情報を得ることができて楽しいので、今後も会話をしていきたい。

<四国>

徳島市観光ステーション「とくしま旅づくりネット」

秋のお遍路シーズンが始まり、交通や宿泊予約のヘルプ作業が多くなった。案内所のある徳島市内の観光案内よりも、お遍路対応の件数が上回っている。

丸亀市観光案内所

国の伝統工芸品である「丸亀うちわ」の伝統を継承する取り組みが、Green Destinations により「世界の持続可能な観光地 TOP100」に選出された。

木屋旅館

私たちが情報提供を行ったゲストに、オーストラリアから自転車で旅行している訪問者や四国を探索する単独旅行者がいたが、彼らは観光パンフレットに載っていない宇和島と愛媛の知られざる部分に興味を持っていた。

松山観光港ターミナル観光案内所

- 10 月は観光業界の繁忙期であり、気候も良いことから多くの方が松山を訪れた。市内、県内各地で秋祭りが開催され、地元の方を含め内外で盛り上がった。各地のイベントは例年通り開催され、コンサート鑑賞やスポーツ大会などで訪問される方は多かった。併せて観光も楽しまれており、案内所では「初めて」の方への案内をわかりやすく丁寧に行った。イベントでの訪問をきっかけに松山を知っていただく機会は多く、リピートに繋がっている。
- 10 月の気候は屋外活動にぴったりで、一年を通して一番遍路客の多い時期だ。平均してこの時期の行程は長く、少しでも多くの札所をまわる方がいらっしゃる。案内所ではその行程の提案書(ルートマップ)を資料とともにお渡ししている。特にローカル線のバス乗り場や発車時刻を細かく案内したものは重宝していただいている。外国籍の観光客もこの時期に多く、特にオセアニア圏からの家族連れが目立っていた。彼らも遍路を希望されており、外国語でのサポートは大変喜ばれている。

こうち観光ナビ・ツーリストセンター

当月のクルーズ船入港は 10 隻。うち半隻は大型客船で案内業務も大変賑わった。また、5 日セレブリティ・ミレニアム入港時には、おもてなしボランティアに登録されている高知在住のアメリカ籍の方が、案内のサポートに入ってくれ、大変助かった。入港以外でも外国籍の個人旅行者の姿もあり、大歩危観光の問合せも目立つ。季節的に外国籍のお遍路さんの来所も増えてきており、問合せのほとんどが宿に関する質問で日本語が話せないため代理で宿泊先に連絡をする事が多かった。他にもアクティビティの予約に関する事や、有料パーキングの料金の支払い方など問合せは様々。入口に設置している当案内所の記念スタンプが人気。

<九州・沖縄>

福岡市観光案内所(博多駅総合案内所)

早朝から案内所が閉まるまで訪日客の来所が多い。アジア圏のマレーシア、タイ、フィリピン、香港、台湾のお客様は九州内の観光地のお尋ねが中心。レールパスカウンターでは引換や予約したきっぷの受け取り場所、

乗り場などで迷われている方が多いため、お尋ねが多い物は POP を作成しカウンターに出してご案内している。

福岡空港国際総合案内所(国際線ターミナルビル)

- 国際線の増改築工事に伴い、構内道路の一部切り替えが行われた。国際線旅客ターミナルビルへの入口及びバスとタクシー乗り場の変更があったため問合せが増加した。国際線旅客ターミナルビルの北側コンコース延伸エリアのうち、搭乗待合室などの一部が供用開始された。
- 航空会社オリエントルエアブリッジによる名古屋(中部)線が就航し、福岡⇄中部の便は1日最大13便となる。
- 国内線利用の団体バス、観光バスなどの運用方法が変更になった。ターミナル前の乗降場を利用するバスは「入場許可証」を待機場で受取ることで乗降場乗り入れが可能となる。これにより、隣接する駐車場を利用する一般車両とのすみ分けを図ることができた。

佐賀市観光案内所

九州佐賀国際空港の国際便(ソウル便・上海便・台北便)の運行再開で、アジア圏からの来所者が増加した。市内地図を求められ、レンタサイクルやバスを利用し観光やショッピングを楽しまれている。

阿蘇インフォメーションセンター

コロナ禍明け以降、台湾、香港からの来訪者は多いものの、中国本土からの来訪者はあまり多くない印象だったが、10月初めの国慶節の時期は非常に多くの中国本土からの方々が来訪された。このところ欧米圏からの来訪者も増えてきた。アジア圏の来訪者はヘリコプターと火口見学が目的。欧米圏からの来訪者の多くは火口見学に加えてトレッキングも楽しまれているようである。

苓北町観光案内所

気候が良くなり、夏に減少したキャンプ場利用数が当月は増加した。また、「福岡城お城まつり」が4年ぶりに開催され、町内外訪日客の方も見受けられ賑わった。スマホでの会話で案内をスムーズに行え、良かった。

宮崎空港案内所

アジアナ航空が9月下旬に再就航後は韓国籍のお客様が一気に増加し、観光地や各地へのアクセス方法について多数問合せがあった。また、乗り継ぎ便で来日される方も多いのか、以前は宮崎であまりお見かけしなかったヨーロッパ圏や中東圏と見られるお客様も多々いらっしゃり、訪日客が戻ってきたことを体感している。

肝付町観光案内所

- 当案内所での外国籍の来訪者は増加している。アメリカ籍(ハワイ在住)の夫婦よりガイドの要請をいただき、観光案内を行った。ロケットに非常に興味を持たれている方で、ガイド案内を大変喜ばれていた。関連グッズもたくさん購入されていた。
- 鹿児島県の最新観光統計によれば、10月の外国籍の方の延べ宿泊客数、延べ入場・来場者数は9,582人、前年同月比1209.0%増で、香港エクスプレス航空の定期便運航再開などにより増加傾向にあり、コロナ禍で大きく落ち込んだ前年同月を上回った。肝付町が位置する大隅半島への海外からの宿泊客は減少となった。

沖縄観光情報センター

直行便が就航している地域からの来訪が多い傾向。それ以外の国はドイツからのお客様の利用が多い。

那覇空港国際線観光案内所

- 年代別では 20 代・30 代が 70%弱と過半数以上。利用者層は家族が過半数弱、続いてお一人、グループ、カップルの順に多い。問合せ内容は宿泊ホテルまでの交通手段が圧倒的に多い。
- お客様に配布出来る英語の紙パンフレットの在庫がない状況が数カ月続いており、対応に苦慮。現在、デジタルパンフレットの QR コード設置、配布にて対応中。

10月 [案内所の取り組み・他案内所や地域との連携事例・その他] ～西日本～

<近畿>

京都総合観光案内所

台湾出身の観光客が「昨日旅行中に購入したものを JR の車内に忘れた。今日は京都で宿泊するが明日帰国予定でどうしたらいいか」と相談に来られた。通常であれば、JR 西日本お忘れ物専用ダイヤルをお伝えし、自身で連絡いただくようお願いしているが、今回は当人に代わって JR 西日本お忘れ物専用ダイヤルにかけて事情を話した。すると、中国語話者と代わってもらうことができお客様と直接話していただいた。結果、忘れ物が見つかり当日中に京都駅中央改札口に運んでもらえることになり、お客様に喜ばれた。JR 西日本お忘れ物専用ダイヤルは、JR が契約している通訳会社に転送可能で、英語、韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語の通訳がいるとのことであった。

観光おもてなしプラザ 泉佐野まち処

当案内所を運営する ICP は、観光促進のために積極的な活動を展開している。まずは「ツーリズム EXPO ジャパン」に出展し、泉佐野市の魅力を広めている。この機会を通じて地域の観光資源を紹介し、観光客の誘致に積極的に貢献している。また、地域の美食を楽しむガストロノミーウォーキングイベントを主催し、観光客に地域の食文化を体験できる機会を提供している。イベントの際には、当案内所も地元が誇る地ビール「KIX ビール」をお土産として提供し、地元と観光客の交流を促進に一役買った。

北はりま田園空間博物館 総合案内所

播州織の布ぞうりづくり、しめ縄づくりなど、伝統的な産業や文化を体験的に知ってもらうコンテンツはあるので、SNS などを通じた情報発信に努めている。

<中国>

広島バスセンター総合案内所

■5泊6日の広島滞在

ハワイからお越しの 60 代日系アメリカ籍の夫婦が来所。広島は初めての訪問で 5 日間の行程、平和記念資料館、宮島、尾道、吉田へ行かれる予定だった。市内と宮島の周遊観光には「Visit Hiroshima Tourist Pass」を提案し、尾道観光にはお得な観光セット券「おのみち散策きっぷ」をお勧めした。安芸高田市の吉田町へ行かれる目的は祖先の移民前の居住地でご自身のルーツを辿る旅だった。滞在中は当案内所近くのホテルに宿泊され、バスセンターを起点に観光をされていたので 5 泊 6 日の滞在中に 5 日間来所があった。帰国日には「あなたの案内でストレスフリーの旅ができた」と手紙を頂いた。

■島根方面の各高速バスの訪日外国籍の方旅行者向け割引乗車券

- ・浜田行き的高速バス:9 月 29 日より浜田行き外国籍の方対象の割引乗車券は、在留カード提示での割引は廃

止、短期滞在の入国資格がある訪日旅行者のみパスポートを提示すると割引適用との内容に変更された。当月は乗車券窓口で在住外国籍の方が在留カードを提示されるケースが続き、廃止したと説明する対応が何度もあった。中には納得されず「先週広島へ来るときは割引になった」、「車内では割引してもらえた」など浜田側や車内での販売は取扱い自体ないが、様々な理由を述べられ何とかして割引を求める方もおり対応に苦慮した。再度規則に従い、割引不可と伝えると購入を止める方もいた。この件で今まで訪日旅行者ではなく在住就労者の購入が主であったことが伺え、早く情報が在住者に行き渡ればと願う。

- ・大田行き的高速バス:9月29日から島根方面の高速バスについて、外国籍の方対象の割引乗車券に大田線と益田線が追加された。18日に乗車券窓口で大田行きの乗車券購入のため来所されていたインドネシア出身の男性2人に短期滞在の旅行者であるか声をかけた。パスポートで短期間の旅行者であることを確認し、前月末からこの路線は外国籍の方の割引が開始され、片道3,450円が500円になったことを伝えると運賃の安さに大変驚かれ、「また広島に絶対来ます」と喜ばれた。

https://www.all-iwami.com/information/detail_1974.html

新山口駅観光交流センター

館内の月間掲示に山口市内にある7つの温泉を湯田温泉を中心にして紹介した。多言語対応の「西の京 やまぐち」というパンフレットがあるので、全種類を置いた。山口市内のお得クーポン「ゆけむり手形」について、3月31日まで販売中のため展示にてPRした。

<四国>

坂出市観光案内所

10月に当協会主催で、飲食業・宿泊業に絞ってインバウンド対策セミナーを実施した。約30名の参加で、受入体制として何を行うか、まず簡単なできることをしていくなどの内容の講演だった。

松山空港総合案内所

チェジュ航空が10月29日よりデイリー運航になったため、訪日客増加に対応できるように、資料集めやクーポン配布の準備などを行っている。

木屋旅館

大阪で開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2023」に参加、ネットワーキングをし、宇和島地域のプロモーションのアイデアを模索した。10月に市役所と観光協会に対し調査結果のプレゼンテーションを行う予定。

高知空港総合案内所

現在はタブレットに翻訳アプリを入れお客様と会話をしているが、透明ディスプレイに会話が表示される多言語翻訳サービス機を、トライアル期間として10月下旬より2週間借り入れた。

<九州・沖縄>

博多港国際ターミナル総合案内所

9月末から10月初めまでの韓国の大型連休などの影響により、利用客数が前月に比べ2倍近く増加した。当案内所は、日本・韓国籍の利用客数が大半だが、その他国籍の利用客も前月に比べ大幅に増加した。訪日観光客の利用者数増加に伴い、初めて訪日されたお客様も大幅に増加しことから交通機関や交通パスの問合せが多

くみられた。スムーズで分かりやすいご案内を目的に、バス利用方法や行き先までのバス番号・出発時間・運賃などを記入した英語・韓国語の案内用紙を作成し、お客様にお渡しする取組みを実践している。これによりお客様のバス乗り間違いを最小限に抑え、より良い日本旅行のスタートを切ってもらえればと考えている。

長崎空港案内所

- 車の不具合でお困りのお客様への対応:「車のエンジンがかからない」と焦った様子でお客様が案内所にお越しになったため、お客様に代わって JAF を手配した。しばらくして JAF のスタッフが空港の駐車場に到着し、通訳を依頼されたため、引き続き対応した。手続きの際、住所を証明する書類などが必要であったため、車検証などで照合を行った。最終的にエンジンがかかり、決済まで無事済ませることができた。JAF のスタッフと 2 人で手を振りながらお客様をお見送りした。
- 外国籍のお客様増加に伴うアプリの外国語アナウンス:長崎空港消火訓練や忘れ物の英語アナウンスを、今後導入予定のアナウンスアプリで実施した。

島原駅観光案内所

島原駅の観光案内所ではレンタサイクルを行っている。島原城や、鯉の泳ぐまち、島原港での乗り捨てが可能で、海外の方の利用も増えてきた。

大分市観光案内所

「九州におけるインバウンド観光客の九州来訪回数など調査事業」が(株)サーベイリサーチセンターによって行われている。大分市観光案内所も 9 月後半より調査に参加(調査最終日は 2024 年 2 月 29 日)。「KYUSHU Tourism Survey」アンケートのご協力を訪日観光客に無理のないように声掛けをし、アンケート後に謝礼の消しゴムを 1 つ選んでいただき渡している。富士山、だるま、招き猫(イエロー・ホワイト)、舞妓の 5 種類あり、だるまが一番人気。デザイン消しゴムの意味を説明することで、日本文化の紹介につながっている。

道の駅 ゆふいん

最近、勝手に充電(盗電)をする方が増え困っている。カウンターでは有料で充電サービスを行っており、それを伝えると「それならばなくていい」と去っていくケースも。

はえばる観光案内所

当協会が行っている「かすりの道ツアー」の外国籍の観光客向けの紹介動画の作成や、旅行会社との企画打ち合わせなどに力を入れた。

以上